

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		地域交通安全活動推進協議会運営支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名 後藤一男
	施策	3	交通安全対策の推進			所属課	総務課	担当者名 長島正和
	基本事業	9	交通事故防止対策の推進			所属班	交通防災班	(内線) 1225
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	地域交通安全活動推進委員及び地域交通安全活動推進委員協議会に関する規則	
	1	2	1	3	10042		成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	地域交通安全活動推進委員が相互に連携して組織的かつ効果的に活動できるよう支援するほか、関係機関・団体との連絡調整を行い、もって事故のない明るい社会づくりの貢献する。 道路交通法に基づき、公安委員会が委嘱した地域交通安全活動推進委員で組織する協議会が発足した。 交通事故等の増加により、協議会の行う啓発事業もより活発になっている。
【業務の流れ】	協議会が行う全国交通安全運動に伴う活動、交通安全教育指針に基づく交通安全教育の推進、駐車違反の指導、街灯活動の推進などへの支援
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)

全国交通安全運動に伴う支援活動
 違法駐車指導パトロール
 年末年始の交通事故防止運動への支援活動

④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) (単位)

⇒ ア 協議会主催事業参加回数 回 イ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)

地域交通安全活動推進協議会 ⇒ ア 地域交通安全活動推進委員数 人
⇒ イ

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)

協議会主催事業に参加してもらう。 ⇒ ア 協議会主催事業に参加した委員の延べ人数 人
⇒ イ

*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	回	11	未把握	11		11	11	
	イ								
⑤ 対象指標	ア	人	6	5	5		5	5	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	人	40	未把握	55		55	55	
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	100	100	100		100	100
	(A) 事業費計	千円	100	100	100	0	100	100	0
		(A)のうち指定経費	千円						
		(A)のうち時間外、特勤	千円						
		正規職員従事人数	人	3	4	4		4	4
(B) 人件費	延べ業務時間	時間	110	160	160		160	160	
	(B)人件費計	千円	437	640	637	0	637	637	
	千円	437	640	637	0	637	637		
トータルコスト(A)+(B)		千円	537	740	737	0	737	737	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0
	0

事務事業名	地域交通安全活動推進協議会運営支援事業	所属部	総務企画部	所属課	総務課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 委員への働きかけをより一層行うことで、協議会主催事業に参加する委員も増えてくる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 負担金の算出基礎(推進委員1名×20,000円)に基づき支出しており、削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 全市民を対象とした交通安全の推進を図るための支援事業であり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 委員との連絡を密にして、積極的な活動を働きかける。